

第9回 「有機農業・有機農産物について」

1 調査目的

有機農業を推進するため、有機農業や有機農産物について、消費者の理解度や利用状況等を把握し、今後の施策に反映するための基礎資料として活用します。

(担当課:農政部経営技術課)

2 調査概要

(1) 調査対象者

908 名 (とちぎネットアンケート協力者)

(2) 調査期間

令和3(2021)年10月19日 ~ 11月1日

(3) 調査方法

電子メールにより周知・回答依頼。電子申請により回答。

3 回答者属性

回答数 432 名 (回答率47.6%)

(1) 男女別内訳

性別	回答者数	構成比
男性	209	48.4 %
女性	223	51.6 %
計	432	

(2) 年代別内訳

年代	回答者数	構成比
10代	3	0.7 %
20代	9	2.1 %
30代	71	16.4 %
40代	121	28.0 %
50代	101	23.4 %
60代	76	17.6 %
70代以上	51	11.8 %
計	432	

(3) 地域別内訳

地域	回答者数	構成比
県央	223	51.6 %
県南	109	25.2 %
県北	100	23.1 %
計	432	

(注)

(1) 調査結果に使われる「n」は、各設問に対する回答者数です。

(2) 割合を百分率(%)で表示する場合は、小数点第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示。四捨五入の結果、合計が100%にならないことがあります。

(3) 図表中の語句は、表記を短縮・簡略化している場合があります。

4 調査結果

問1 あなたが、「有機農業」※について知っていることは何ですか。

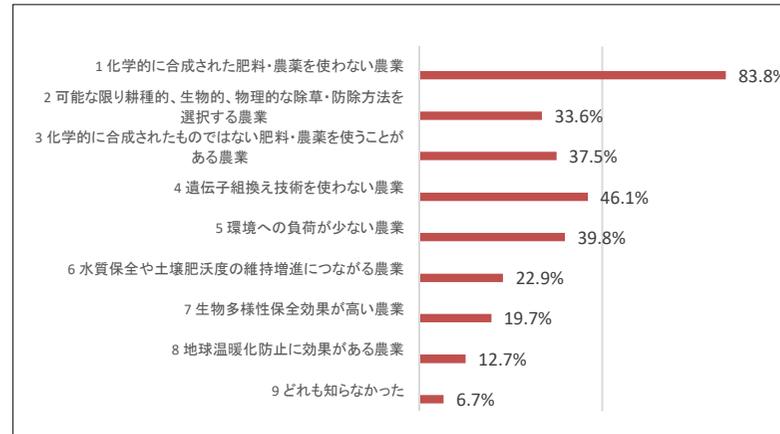
(複数回答可)

※「有機農業の推進に関する法律」による「有機農業」の定義は次のとおりです。

1. 化学的に合成された肥料及び農薬を使用しない
2. 遺伝子組換え技術を利用しない
3. 農業生産に由来する環境への負荷をできる限り低減する農業生産の方法を用いて行われる農業です。

	構成比	回答数
1 化学的に合成された肥料・農薬を使わない農業	83.8%	362
2 可能な限り耕種的、生物的、物理的な除草・防除方法を選択する農業	33.6%	145
3 化学的に合成されたものではない肥料・農薬を使うことがある農業	37.5%	162
4 遺伝子組換え技術を使わない農業	46.1%	199
5 環境への負荷が少ない農業	39.8%	172
6 水質保全や土壌肥沃度の維持増進につながる農業	22.9%	99
7 生物多様性保全効果が高い農業	19.7%	85
8 地球温暖化防止に効果がある農業	12.7%	55
9 どれも知らなかった	6.7%	29

(n = 432)



問2 あなたが、「有機(オーガニック)農産物」※という言葉から思い浮かべるイメージはどのようなものですか。

(複数回答可)

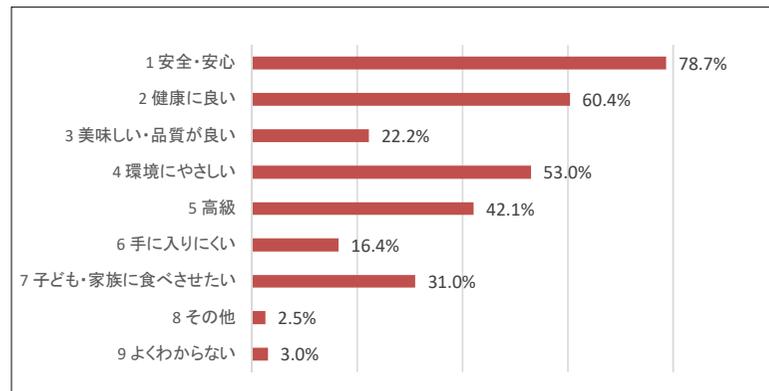
※「有機(オーガニック)農産物」とは、「有機農産物の日本農林規格(有機JAS規格)」の基準に従って生産された農産物を言います。

[生産の方法についての基準(抜粋)]

1. 周辺から使用禁止資材(化学的処理が行われている肥料や農薬、土壌改良資材など)が飛来し又は流入しないように必要な措置を講じている
2. は種又は植付け前2年以上化学肥料や化学合成農薬を使用しない
3. 組換えDNA技術の利用や放射線照射を行わない

	構成比	回答数
1 安全・安心	78.7%	340
2 健康に良い	60.4%	261
3 美味しい・品質が良い	22.2%	96
4 環境にやさしい	53.0%	229
5 高級	42.1%	182
6 手に入りにくい	16.4%	71
7 子ども・家族に食べさせたい	31.0%	134
8 その他	2.5%	11
9 よくわからない	3.0%	13

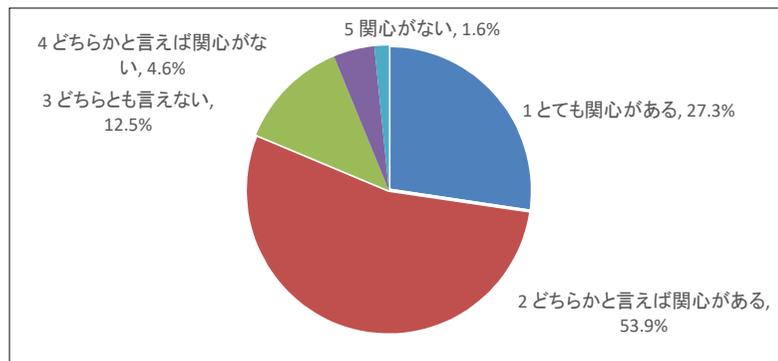
(n = 432)



問3 あなたは、有機農産物をはじめ、環境にやさしい栽培管理方法で栽培された農産物に関心がありますか。

	構成比	回答数
1 とても関心がある	27.3%	118
2 どちらかと言えば関心がある	53.9%	233
3 どちらとも言えない	12.5%	54
4 どちらかと言えば関心がない	4.6%	20
5 関心がない	1.6%	7

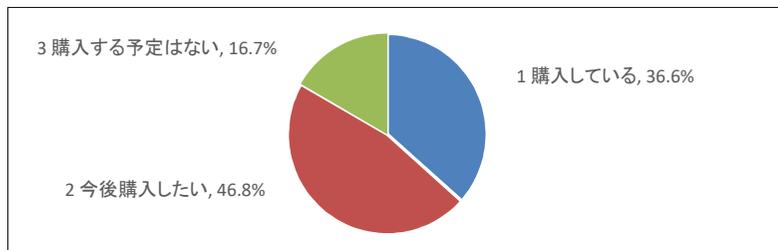
(n = 432)



問4 あなたは、有機農産物やその加工品(有機食品)を普段購入していますか。又は今後購入したいと思いますか。

	構成比	回答数
1 購入している	36.6%	158
2 今後購入したい	46.8%	202
3 購入する予定はない	16.7%	72

(n = 432)



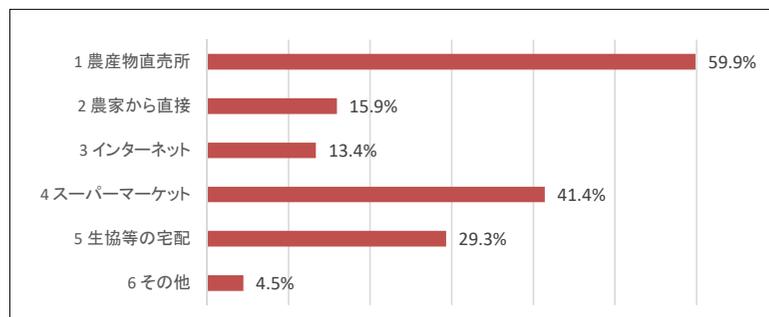
問5 問4で選択肢1を選んだ方にお聞きします。

あなたは、有機農産物やその加工品(有機食品)をどこで購入していますか。

(複数回答可)

	構成比	回答数
1 農産物直売所	59.9%	94
2 農家から直接	15.9%	25
3 インターネット	13.4%	21
4 スーパーマーケット	41.4%	65
5 生協等の宅配	29.3%	46
6 その他	4.5%	7

(n = 157)



[その他の主な意見]

- ・自然食品店
- ・生協(店舗)

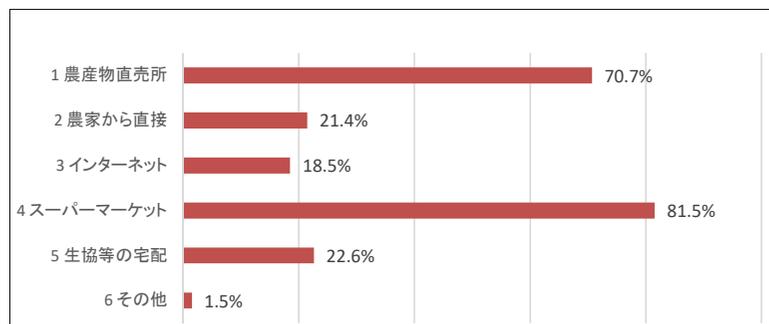
問6 問4で選択肢1又は2を選んだ方にお聞きします。

あなたは、有機農産物やその加工品(有機食品)をどこで販売して欲しいですか。

(複数回答可)

	構成比	回答数
1 農産物直売所	70.7%	241
2 農家から直接	21.4%	73
3 インターネット	18.5%	63
4 スーパーマーケット	81.5%	278
5 生協等の宅配	22.6%	77
6 その他	1.5%	5

(n = 341)



[その他の主な意見]

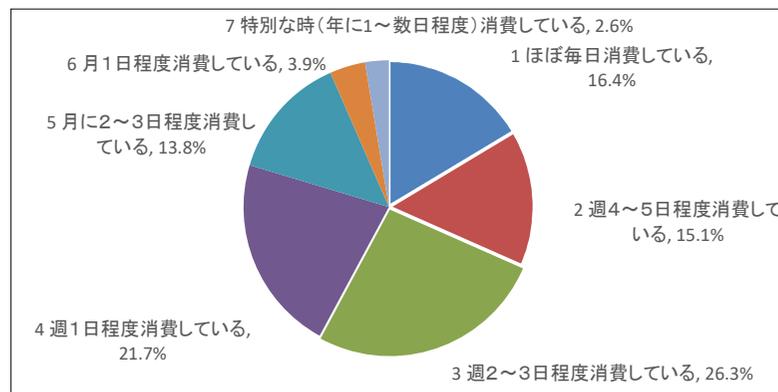
- ・生協(店舗)
- ・コンビニ

問7 問4で選択肢1を選んだ方にお聞きします。

あなたは、有機農産物やその加工品(有機食品)をどのくらいの頻度で消費していますか。

	構成比	回答数
1 ほぼ毎日消費している	16.4%	25
2 週4～5日程度消費している	15.1%	23
3 週2～3日程度消費している	26.3%	40
4 週1日程度消費している	21.7%	33
5 月に2～3日程度消費している	13.8%	21
6 月1日程度消費している	3.9%	6
7 特別な時(年に1～数日程度)消費している	2.6%	4

(n = 152)

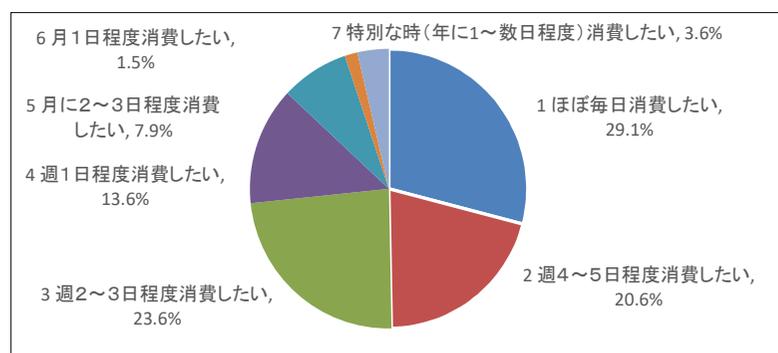


問8 問4で選択肢1又は2を選んだ方にお聞きします。

あなたは、有機農産物やその加工品(有機食品)をどのくらいの頻度で消費したいですか。

	構成比	回答数
1 ほぼ毎日消費したい	29.1%	96
2 週4～5日程度消費したい	20.6%	68
3 週2～3日程度消費したい	23.6%	78
4 週1日程度消費したい	13.6%	45
5 月に2～3日程度消費したい	7.9%	26
6 月1日程度消費したい	1.5%	5
7 特別な時(年に1～数日程度)消費したい	3.6%	12

(n = 330)



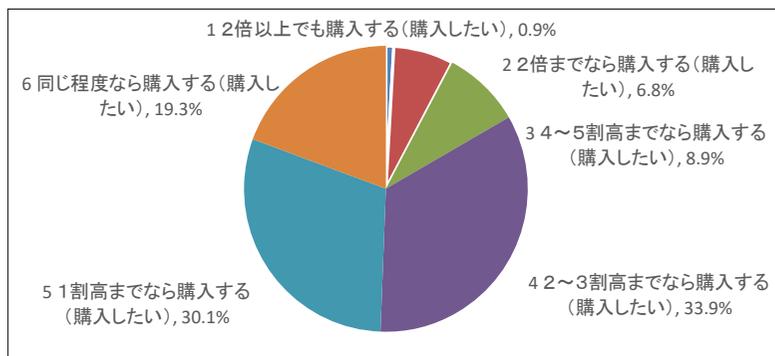
問9 問4で選択肢1又は2を選んだ方にお聞きします。

あなたは、有機農産物やその加工品(有機食品)について、慣行栽培農産物※やその加工品と比較して、どの程度の価格差まででしたら、継続的に購入すると思えますか。

※「慣行栽培農産物」とは、化学肥料や化学的に合成された農薬も「適正に使用」して栽培されている、一般的に販売されている農産物です。

	構成比	回答数
1 2倍以上でも購入する(購入したい)	0.9%	3
2 2倍までなら購入する(購入したい)	6.8%	23
3 4～5割高までなら購入する(購入したい)	8.9%	30
4 2～3割高までなら購入する(購入したい)	33.9%	114
5 1割高までなら購入する(購入したい)	30.1%	101
6 同じ程度なら購入する(購入したい)	19.3%	65

(n = 336)

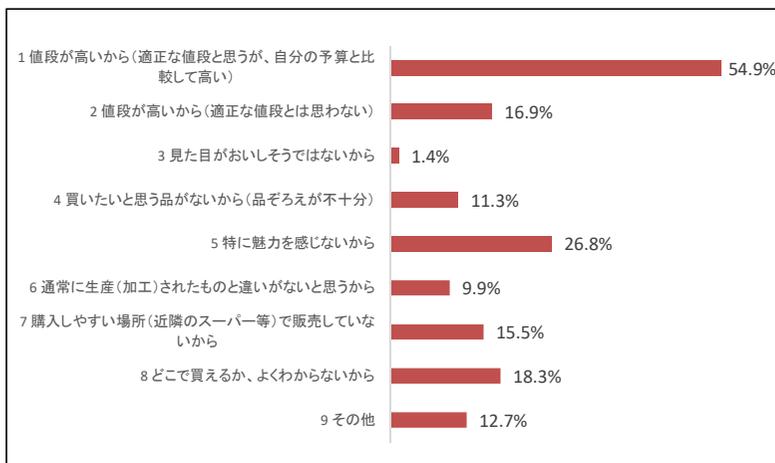


問10 問4で選択肢3を選んだ方にお聞きします。

あなたが、有機農産物やその加工品(有機食品)を購入しない理由は何ですか。(複数回答可)

	構成比	回答数
1 値段が高いから(適正な値段と思うが、自分の予算と比較して高い)	54.9%	39
2 値段が高いから(適正な値段とは思わない)	16.9%	12
3 見た目がおいしそうではないから	1.4%	1
4 買いたいと思う品がないから(品ぞろえが不十分)	11.3%	8
5 特に魅力を感じないから	26.8%	19
6 通常に生産(加工)されたものと違いがないと思うから	9.9%	7
7 購入しやすい場所(近隣のスーパー等)で販売していないから	15.5%	11
8 どこで買えるか、よくわからないから	18.3%	13
9 その他	12.7%	9

(n = 71)



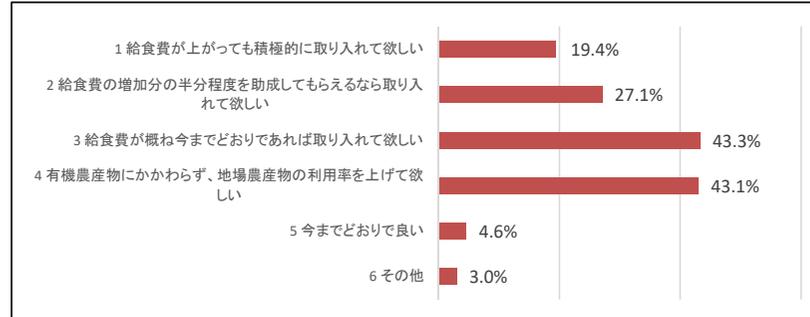
[その他の主な意見]

- ・自分で育てているから
- ・安心・安全かどうかという明確な基準が分からないから
- ・有機という言葉が理解しにくいから

問11 学校給食への地場農産物利用が進んでいるところですが、県外では、食農教育への取組みとして、学校給食で提供するご飯の全量を有機米とする市が現れており、世界的にも、学校給食における有機食材利用率を高める動きがみられます。あなたは、有機農産物を学校給食に取り入れることについて、どのように考えていますか。
(複数回答可)

	構成比	回答数
1 給食費が上がっても積極的に取り入れて欲しい	19.4%	84
2 給食費の増加分の半分程度を助成してもらえらるなら取り入れて欲しい	27.1%	117
3 給食費が概ね今までどおりであれば取り入れて欲しい	43.3%	187
4 有機農産物にかかわらず、地場農産物の利用率を上げて欲しい	43.1%	186
5 今までどおりで良い	4.6%	20
6 その他	3.0%	13

(n = 432)



[その他の主な意見]

- ・有機農産物の手間を考えると適正価格だと思っているので、地場産物を盛り上げより良くするためにも取り入れてほしい
- ・安心で安全な食べ物であるのであれば、給食に導入すべき
- ・学校給食は地産地消を基本とし、有機農業者からの購入のため税金を使用することには賛同
- ・給食は教育の一端であり保護者負担はおかしいのではないか
- ・適正な量の農薬や肥料を使い、農産物の増量、農家の負担軽減、農業の低コスト化等を行うことも重要
- ・有機農産物を取り入れる意味、環境や人体に対する影響など、「食育」できる教育環境が必要